

事務事業評価表

1. 基本事項

作成日 令和04年06月24日(金)

事務事業		地域産業活性化事業		担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3739
総合計画	大項目	3	活力とにぎわいにあふれるまち		事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務			
	中項目	2	雇用とにぎわいを生み出すまちづくり		根拠法令 個別計画等				
	小項目	2	観光資源の整備と活用						
	主要プロジェクト	0	(未使用)						
事業概要		花園ⅠC拠点地区整備に伴い、花園エリアを核とした回遊型観光事業の推進により市内交流人口や市内での滞留時間の増加を図り、地域産業全体の活性化を目指す。							
目的 ※何のために		花園ⅠC拠点地区からの市内回遊を促進するため							
対象 ※誰・何を対象に		市内生産者、事業者、市民、市外からの来訪者等							
手段 ※どのように		市の強みである農業、とりわけ野菜を活用し、生産者や事業者等のパートナーとともに、情報の周知や農業体験、イベント等の各種コンテンツを提供する。							
成果 ※何を求めるか		市内全域を野菜のテーマパーク化し、市内交流人口の増加を図る。							
執行体制		<input checked="" type="checkbox"/> 職員 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 全部委託 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 市民ボランティア <input type="checkbox"/> NPO等 <input type="checkbox"/> その他()							
事務事業を構成する 予算事業	区分	款	項	目	細事業名		前年度決算額(円)		
本事業の 主な業務	・野菜を楽しむまちづくり戦略に関する業務				・				
	・				・				
	・				・				
	・				・				
	・				・				
	・				・				

2. 事業費(投入コスト)

単位: 円

区分		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
年度別計画			・ふるさと納税電子感謝券の導入・野菜を楽しむまちづくり戦略の策定	・野菜を楽しむまちづくり戦略に基づく事業実施	・ベジタブルテーマパークフカヤの推進	・ベジタブルテーマパークフカヤの推進	・ベジタブルテーマパークフカヤの推進
事業費	予算(現額)	0	0	0	0	0	0
	決算額	0	0	0	0	0	0
	財源内訳	国支出金	0	0	0	0	0
		県支出金	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		他特定財源	0	0	0	0	0
		一般財源	0	0	0	0	0
人件費	従事職員数(人)	0.00	1.50	1.40	1.00	1.50	1.30
	人件費相当試算※	0	11,673,000	11,005,400	8,136,000	11,642,873	10,570,752
総事業費試算		0	11,673,000	11,005,400	8,136,000	11,642,873	10,570,752

※ 人件費相当額試算は、従事職員数に平均人件費を用いて試算したものです。

3. 評価指標

区分	指標名		目標値	単位	平成 29年度	平成 30年度	平成 31年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度
			実績値							
	目標値の算定根拠/実績値の出所									
実績値の算出式										
成果指標 1	V T P生産者会員数（生産者、加工業者等）	目標値	件	0	0	0	30	35	40	
		実績値		0	0	0	30	45	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和2年度実績を基準とし、毎年5件ずつ会員数を増やす。/実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 2	V T P事業者会員数（飲食店、市外事業者等）	目標値	件	0	0	0	20	66	71	
		実績値		0	0	0	61	94	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和2年度実績を基準とし、毎年5件ずつ会員数を増やす。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 3	商品の掘り起こし、開発数（ふるさと納税お礼品）	目標値	件	0	0	18	23	50	50	
		実績値		0	13	19	53	130	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和2年度の実績を基準とし、農畜産物及び加工品のお礼品新規開発数を維持する。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 4	観光回遊コースの開発数（V T Pサイトへの掲載）	目標値	件	0	0	0	10	8	8	
		実績値		0	0	1	3	27	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			シーズン毎に2コースの開発を目指す。 / 実績による						
	実績値の算出式									
成果指標 5	V T Pサイト閲覧数PV数	目標値	千件	0	0	0	150	145	180	
		実績値		0	0	63	97	502	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和2年度の実績を基準に令和3年度は1.5倍、その後は毎年20%の増加を目指す。						
	実績値の算出式									
成果指標 5	V T Pサイト閲覧平均滞在時間	目標値	分	0	0	0	0	1.75	2	
		実績値		0	0	0	1.5	1.75	0	
	目標値の算定根拠/実績値の出所			令和2年度の実績から、15秒ずつ平均滞在時間を伸ばす。						
	実績値の算出式									

4. 観点別評価

観点別評価は、指標達成の有無の他、その達成率も勘案して総合的に評価します。
目標値の設定がないものについても、進捗状況等を踏まえA～Cの三段階にて評価します。
事業達成度評価は、意図した活動により事業目的に適う成果がでているかを評価します。
(評価基準) (A:達成している B:おおむね達成している C:達成していない)

(1) 事業達成度評価

区分	評価の観点	評価	評価理由・指標数値の推移
活動	・活動実績は、見込みに沿い、かつ投入資源に見合っているか。	B	VTPに関してはテーマ別のフェアやデジタルスタンプラリーを実施し、事業推進を図った。
成果	・意図した成果が上がっているか。 ・指標未達成の場合は、その原因を分析できているか。	A	VTP会員数、ふるさと納税商品の掘り起こし、PV数、観光回遊コースは設定した目標を上回った。
			評価者 産業ブランド推進室 主任 相模 慶

(2) 事業効率性評価

事業効率性評価は、執行体制や手段など効率的に事務事業を執行しているかを評価します。
(評価基準) (A:効率的である B:高める余地あり C:効率的でない)

区分	評価の観点	評価	評価理由
効率性	・ICTの活用や業務改善が充分か。 ※検証必須 ・コスト面など効率的に執行できているか。 ・民間委託や他事業との統合・連携が可能か。	A	・デジタルスタンプラリーの実施により、結果の集計や分析を手入力する必要なく、効率的に事務を行った。 ・オンライン会議ツールを活用し、業務の効率化を図った。
			評価者 産業ブランド推進室 主任 相模 慶

5. 前年度改善改革プラン達成状況

令和2年度の評価を受けて 設定した改善・改革案	来訪を促す取組として、農業体験などのイベントや観光コンテンツを充実させていく。
達成状況及び その効果	農業体験や野菜に関する体験などをパートナーズ主体で実施、更に観光回遊コースを開発した。その結果、WEBサイトのPV数も目標値を大きく上回るなど効果を収めた。

6. 所属長評価（今後の方向性）

事務事業	地域産業活性化事業	担当課	産業ブランド推進室	担当係	産業ブランド推進室	管理番号	3739
<div><div><div><input type="checkbox"/> ①拡充, 重点化(コスト投入)</div><div><input type="checkbox"/> ②現状のまま継続</div><div><input checked="" type="checkbox"/> ③見直して継続</div><div><input type="checkbox"/> ④目的達成による終了</div><div><input type="checkbox"/> ⑤廃止を検討</div></div><div><div><input type="checkbox"/> 委託化等の検討</div><div><input checked="" type="checkbox"/> 成果向上のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 効率化のための改善</div><div><input type="checkbox"/> 事業規模の縮小</div><div><input type="checkbox"/> 他の事務事業と統合</div></div></div>		評価の内容説明					
		VTPWEBサイトのPV数や観光回遊コース数など目標を達成した。産業拠点への来訪者などをターゲットとした市内回遊の促進を図るべく効果的な手法を検討していきたい。					
上記を実施するための具体的な取組内容は？		評価者	産業ブランド推進室長 柴野 晃彦				

7. 改善改革プラン・今後の課題

令和4年度に実施する 改善・改革案 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	デジタルスタンプラリーなどを活用し市内回遊の状況をデータで把握することで、効果的な施策の検討を行う。 また、VTPのwebサイトのSEO対策や、Instagramアカウントのフォロワー数の増加を図り、より効果的な周知を行えるように改善を図る。
令和5年度以降に取り組む 改善・改革案・今後の課題 (事業目的・各指標の達成に必要な改善、業務の効率化を図るための改善)	市内回遊のデータを活用し、より効果的な手法による施策を実施する。

8. 評価指標グラフ

